

老朽原発 うごかすな！ ニュース

第49号

発行・老朽原発うごかすな！
実行委員会

〔連絡先〕
090 1965 7102

6月11日、関西電力へ抗議と申し入れ

傲慢な関西電の態度

6月11日関西電力本店前抗議行動の際、関西電力本店に申し入れを行ないました。「申し入れ人数は5人まで、写真撮影はダメ」とガードマンが言い、本店ビル入り口から二階のロビーまで案内、応対者が現れ



申し入れのために交渉中 (中央が瀧川さん)

るまで5分くらい待たされました。応対に出てきたのは総務課の若い社員で、「申し入れ書を受け取るだけと言われてきた」と言い張り、「申し入れ書を読み上げるので聴いて受け取るように」という私たちの主張を聞くこともありません。ロビー中央でのこのようなやり取りが大声で始まったので、ガードマンがまずいと思ったのか、ロビーの片隅に両者を誘導しました。応対者は申し入れに来た私たちが部屋に通すわけでも、申し入れを聴こうとするわけでもなく、要するに、紙切れを受け取りに来ただけなのだと思われま

す。埒が明かないのでロビーの

片隅ではありましたが申し入れ書を読み始めました。応対者は仕方なしに聞いていました。申し入れ書を読んでいた途中、私たちの一人がカメラを触ると、読み上げの途中にもかかわらず、「写真を撮つたでしょう！」と本人に詰め寄りしました。まさに私たちが幾度も経験したことのある労働屋的対応そのものです。読み上げが終わってからの話をしようと言われ、読み上げを続行しました。読み上げが終わった後、応対者は「申し入れの主旨は承りました。受け取りをし、上司に伝えます」とも言わず、先ほどの「写真問題」を蒸し返したことは私たちがもびつくりしました。私たちはカメラの撮影履歴を示し、写真を撮影していないことを明らかにし、その上で

応対者に謝罪させました。

関西電は、電力供給という公的企業にもかかわらず、一部の人間の利益が追求される企業となり、「人間を大切にすることからかけ離れた企業に墮落しています。人の意見

再度、関西電力前で抗議行動(6月18日) 避難など、到底無理!

6月18日の関西電力本店前の「緊急抗議集会」に参加した。久々の関西電力本店前である。そして集まった顔なじみの方々とは3月20日の高浜原発現地行動以来だ。雨の降る中、関西電力の中の社員に向かつての訴えや各地からの報告、力強いコールは届いたのだろうか。

23日の再稼働を目前に、市民によるあらゆる抗議行動が取られているが、世間の関



挨拶する宮崎さん(6月18日)

を聴く度量もなく、傲慢極まりない関西電には原発をうごかす能力も資質もありません。(若狭の原発を考える会 瀧川)

心は薄く、コロナの影響も加えメディアに登場することも少ない。ましてやその中でも一般大衆向けテレビなど皆無に等しい。23日当日には「福島第一原発事故後初めて40年超えの原発が今日起動されました。」くらいの報道はなされるのだろうか。

原子炉容器や電気ケーブル、配管などの劣化や破損、地震の基準地震動及び火山灰の過小評価、ずさんな避難計画、どれをとっても再稼働などとうてい許されるものではない。

その中でも脱原発はりまアクシオンが毎週金曜日に関電姫路支店(その後姫路駅前)で昨年からわかりやすいように集中して訴えるのは「コロ